

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年11月26日（金）
- 2 確認箇所
新事務本館
4号機西側（陸側遮水壁K排水路交差付近）
- 3 確認項目
陸側遮水壁測温管の温度上昇の状況

4 確認結果の概要

1～4号機建屋周囲に設けられている陸側遮水壁（凍土壁）（以下「遮水壁」という。）の一部（K排水路交差付近）において地中温度が0℃を超えている状態が継続している事象（10月28日東京電力公表）が発生している。

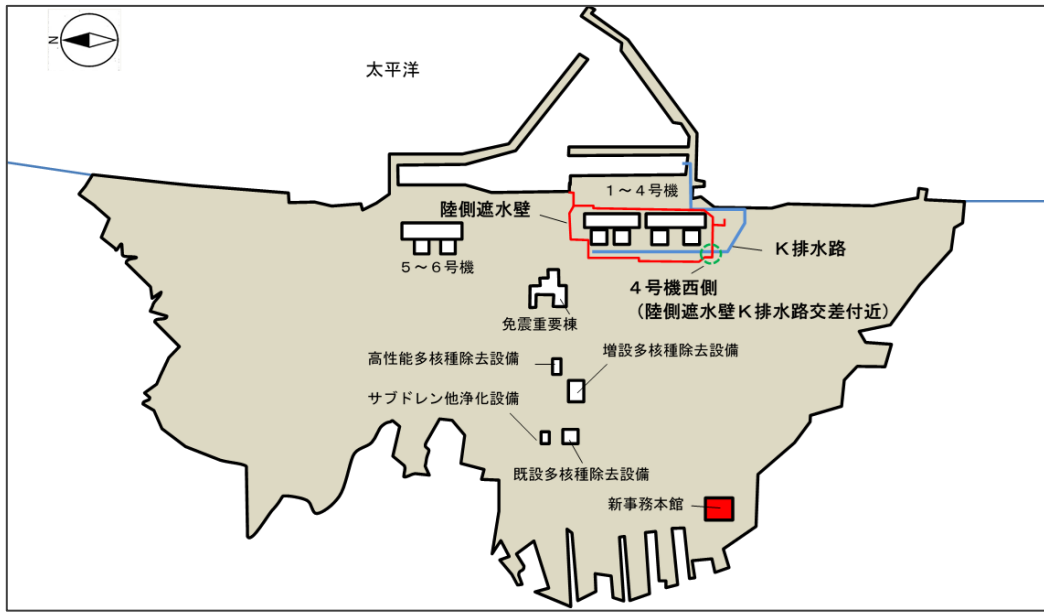
遮水壁がK排水路と交差する付近において地盤を掘削して状態を確認する調査が行われ、その結果が11月25日に公表されたことから、新事務本館にて、東京電力から調査結果と今後の対応方針について説明を受けた。今後の対応として、東京電力は試験的な止水として鋼管を打ち込み、地下水のK排水路への流入及び測温管の温度上昇の変化を確認することとしている。

県は東京電力に対し、①今後行うとしている地下水の流入抑制対策について、結果が分かり次第、速やかに報告すること、②県民の安全・安心のため測温管の管理を含め陸側遮水壁を適切に管理すること、を求めた。

その後、遮水壁外側（西側）の現状を確認した。（図1、写真1）

（掘削調査関係現地確認日：11月11日、11月12日、11月15日、11月16日、11月19日、11月20日、11月22日、11月24日）

- ・11月19日の調査で陸側遮水壁の外側で3箇所掘削されており、その後11月24日の調査では掘削箇所①と②が埋め戻されていたこと確認している。今回現場を確認した結果、新たに1箇所、鋼管を打ち込むための準備作業として掘削作業が行われていた。（図2、写真2）
- ・前回確認された掘削箇所③の地下水が観測された穴は埋め戻されていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
新事務本館で東京電力から調査結果
及び今後の対策について説明を受けた

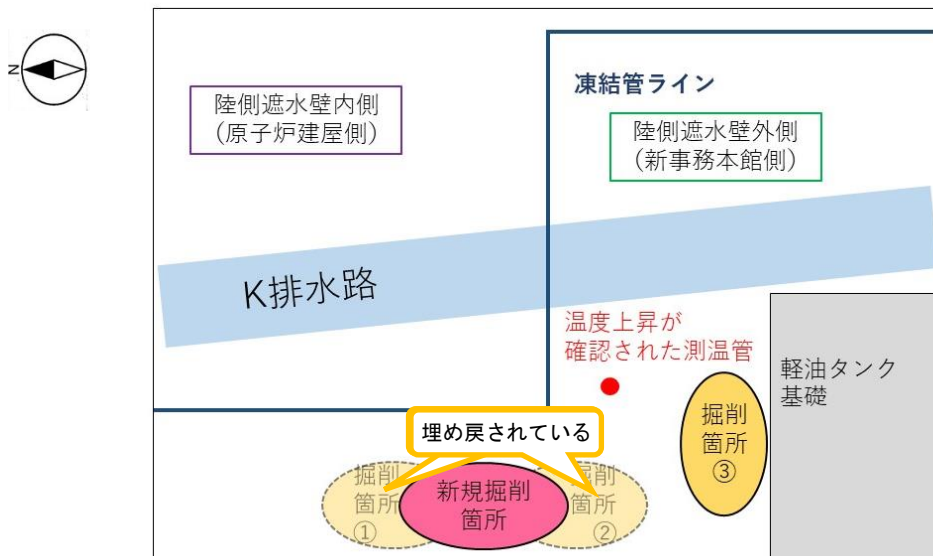


図2 陸側遮水壁外側の掘削作業のイメージ



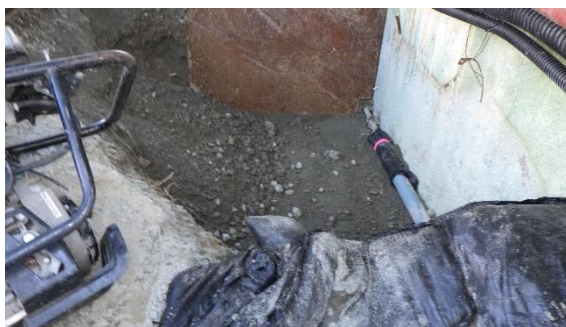
(写真 2 - 1)
11 月 19 日の掘削現場の状況



(写真 2 - 2)
11 月 24 日の掘削現場の状況
(掘削箇所①及び②は埋め戻されていた)



(写真 2 - 3)
11 月 26 日の掘削現場の状況



(写真 3)
掘削箇所③の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。